

消防局 **川口 まさる** **灘区**

瀧消防署の建て替えについて

川口 議員 瀧消防署の建て替えに当たっては、一団地認定制度を利用する等、敷地を効率的に活用できるよう工夫し、子供たちが訓練を見学できるなど市民を引きつける施設を作ってほしい。

消防局▶ 現状の消防署のガレージ前などに空地がなく、子供たちが訓練を見学できるようなスペースはない。また会議室等も手狭で社会科見学などにも十分対応できるような建物でない。今後は、前面空地を確保し、子供たちが消防隊の訓練を見学したり、車両に触れたり、小学校の社会科見学にも対応できるようにしたい。

こども家庭局 **高橋 としえ** **西区**

保育所・幼稚園等のバス送迎における事故防止について

高橋 議員 この9月の事案であるが、静岡県の幼稚園において、通園バスの車内に園児が取り残され、残念ながら亡くなってしまった事案が発生している。このような事故は二度と起きないように、神戸市も再三、安全管理の徹底や、日々の監査などの中でチェック等徹底しているものだと思うが、事案をふまえて当局としてどのように事故防止に向けた対応に取り組んでいくのか見解を伺いたい。

こども家庭局▶ 令和4年4月から市独自のルールとしても園児の見落とし、置き去り、抜け出し等、園児が行方不明になった場合には市に報告するように運用を変更している。国の安全装置改修支援等の具体的な対策などを含め緊急対応策が示されるのを確認したい。

福祉局 **山本のりかず** **北区**

神戸市立更生センターについて

山本 議員 JR灘駅北側に神戸市立更生センターがあります。市として老朽箇所の改修実施、公設民営による運営などを含めてハード・ソフトの両面について、どのように運営していく予定なのか。

福祉局▶ 経年劣化に伴う改修は、令和2年度には屋根の補修工事を実施いたしました。当面の建物機能としては十分使用可能な状況にあります。一方で、壁面の老朽化が進んでいると生活面の質向上といったところで個室化もどのように検討していくかの課題となっております。公設民営については決して否定するものではなく、条件整備をしなければ担い手の問題というのは考えにくいので、いろんなことを考えていきたいと思っています。

教育委員会 **黒田 武志** **西区**

小中学生のインターネット教育の課題について

黒田 議員 スマートフォンの普及が小・中学生まで急速に進む中、ネット利用が低年齢化しており、いわゆるネットいじめが多発している。いじめや有害サイト、出会い系サイトであるとか、生徒がSNSを利用する際、実際にトラブルになる可能性の高い内容に就り、教育委員会事務局が主導し、基本方針を示した上で出前授業を行っていただきたい。

教育委員会▶ 教育委員会事務局において、カリキュラム編成の好事例や外部講師を派遣する機関、事業者の講義内容等をまとめた資料を新たに作成し、学校に提供することにより、各校の実情に即した外部講師による出前授業が広がるよう取り組みを支援してまいります。

交通局 **外海 開三** **東灘区**

自動車事業会計決算と経営改善策について

外海 議員 自動車事業会計においては、多額の赤字を計上し、累積資金不足額も拡大した。その結果、資金不足比率は19.6%となり、経営健全化計画の策定が求められる20%に届くところまでできており、スピード感を持って次の一手を打っていかねばならないが見解は。

交通局▶ 総人件費の削減をはじめ、ツールタッチデータに基づく効率的なバスの路線、ダイヤの設定を行うほか、市内の民間事業者、バス会社との一層の連携強化、乗車人員増につながるような仕組み、民間ノウハウを活用したコストの削減など、新たな経営改善策を速やかに検討し、スピード感を持って取り組んでまいります。

健康局 **ながさわ 淳一** **長田区**

新西市民病院について

ながさわ 議員 新病院開設は令和10年度というところで、地元においても、期待が高まっています。新病院の機能面、設備面は現在の西市民病院と比べてどのようによくなるのか伺います。

健康局▶ 救急医療については、心血管疾患とか、脳血管疾患など、二次救急の中でも緊急性の高い患者の受け入れなどの診療機能を向上させていきます。感染症医療については、第2種の感染症の指定医療機関と同等の機能を備えて、段階的に感染症の専用病床を拡張できる運営体制とか、構築をしまして施設整備を行っています。免震構造も採用し、地震に強い建物を整備することとしています。令和5年2月頃に基本計画としてまとめたかと考えてございます。

文化スポーツ局 **つじ やすひろ** **東灘区**

部活動指導者の技術向上について

つじ 議員 神戸には多くのプロスポーツチームが本拠を置いており、スポーツに親しむ上で大変恵まれた環境にある。令和3年度も子供たちが競技の専門家から直接学べる連携事業が行われたと聞いている。そこで提案だが、今までは子供たちが対象だったが、新たに部活動の指導者に対してもレクチャーすることで、指導の幅が広がり、技術の向上に繋がるのではないのか。

文化スポーツ局▶ 部活動そのものが地域移行する。指導者不足の問題等も言われている中で、質の高い指導が受けられる、教員の多忙化対策という点も含めて、前向きに検討すべき事項と考えている。今後、プロチームの協力を仰ぎながら進めたい。

建築住宅局 **さとう まちこ** **垂水区**

市営住宅の指定管理について

さとう 議員 市営住宅の指定管理料は約38億、委託期間が5年となる。管理会社については住民からの不満も多く聞かれ、9区に分割すると1区約4億円となり、規模の小さい市内企業の参入が可能となる。競争が働くことで指定管理料の削減にも繋がり、地域の民生委員や就労意欲の高い高齢者、子育て中の保護者などに削減を行っていただく事で地域の活性化や雇用の創出にもつながり、さらに市民に寄り添ったサービスも提供できるのではないのか。

建築住宅局▶ 5年後の上限額設定時に向けた適切な指定管理料の策定に努めていきたい。地域分割そのものも検討してまいります。

建設局 **三木 しんじろう** **中央区**

「サンキタ通り」「サンキタ広場」の汚れ・ゴミ対策について

三木 議員 にぎわいづくりとして、「サンキタ通り」や「サンキタ広場」が整備されたが、床の汚れや落書き、ゴミ問題が生じている。これまでで今後の対策は？

建設局▶ これまでの対策として、啓発サイン設置、巡回パトロール及び清掃活動、路面清掃、高圧洗浄などを実施している。今後の対策として、美化作業員を毎日配置して早期の美化作業や路面洗浄作業に加え、「サンキタ広場」にゴミを自動で圧縮するスマートゴミ容器を設置し、実証実験を実施する。神戸三宮の顔としてふさわしい空間となるよう、関係局が一体となり、地域団体や周辺企業とも連携をして、よりよい環境づくりに努めていく。

企画調整局 **住本 かずのり** **須磨区**

ふるさと納税の更なる獲得について

住本 議員 ふるさと納税は、神戸市独自の取組みに活用できる貴重な財源で令和3年度の実買収額は黒字であるが、力を入れないと実質赤字になる場合がある(寄付額よりも控除額が増える)。他都市に負けない納税メニューの充実をしていく必要があるがどうか。

企画調整局▶ 今は選択内容も多様化して1000品目まで増やしている。有馬温泉を始めとする体験型や企業向けの提供もしている。

要望!▶ 神戸独自のプレミアム感のある体験型返礼品であれば、モノをもらうだけでなく神戸で宿泊や飲食など経済波及効果も大きいと考える。ぜひ工夫してもらいたい。

一般質問 **日本維新の会 神戸市会議員団による質疑・要望** **令和4年度定例会市会(第2回)**

第2回定例会市会 **住本 かずのり議員**



行政施設の使用について

住本 議員 これまで旧統一教会の関連団体が神戸市の行政施設を利用して各種イベントをおこなっているが、どれぐらいの事例を把握しているのか。また、今後施設利用を希望してきた場合はどのように対応するのか？

小原 副市長 使用状況については全市調査していない。今後の対応は、公の施設は自治法における正当な理由がない限り住民が公の施設を利用することについて不当な差別的取り扱いをしてはならないと規定している通り、各施設の管理運営条例等において許可基準を定めているところであるので、適切に判断していくことが重要と考える。

要望!▶ 私が把握しているだけでも旧統一教会関連団体は、行政施設の使用は5年間で神戸文化ホール6回、まちづくり会館で12回利用している。霊感商法や高額献金で社会問題になっている組織の「関連団体」は公序良俗を侵害する団体となすべきであり、これが正当な理由にあたるのではないかと考える。政府の方でも「買収権」行使しての団体の解散請求も視野に入っていることを考えると、何らかの使用制限を検討するべきである。

公表! **旧統一教会及び関連団体との関係について、アンケート調査を実施。**

我々日本維新の会神戸市会議員団は、所属議員に対し、アンケート調査を行いました。結果、所属議員で旧・統一教会(現・世界平和統一家庭連合)及び関連団体との関わりは無かったことをご報告いたします。(令和4年9月2日)

アンケート回答▶



実行! **寄付総額は約5,436万円に!!**
(平成28年度~令和4年度)

我々日本維新の会神戸市会議員団では、各所属議員が議員報酬(手取り額)の2割に相当する**12万4,620円/月**を被災地等に寄付しています。

実績内容▶



徹底した行政改革を目指し、まずは、政治家自身が**身を切る!**

身を切る改革は、日本維新の会神戸市会議員団が市民に約束した最重要事項です。公約である**議員報酬2割削減の実現**に向けて、引き続き率先垂範してまいります。